

産業廃棄物処理計画書

令和3年 6月 21 日

吹田市長 様

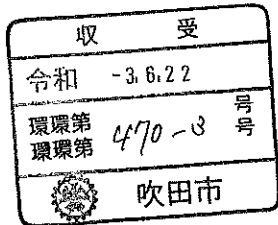
提出者 オリエンタル酵母工業株式会社 大阪工場

住所 大阪府吹田市南吹田四丁目4番1号

氏名 工場長 藤井 祥憲

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6384-1221



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	オリエンタル酵母工業株式会社 大阪工場
事業場の所在地	大阪府吹田市南吹田四丁目4番1号
計画期間	令和3年4月1日から令和4年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項 <b>別紙1, 2のとおり</b>	
①事業の種類	
②事業の規模	
③従業員数	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

(管理体制図)

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

①現状	【前年度 (      年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

別紙 1, 2 のとおり

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		別紙 1, 2 のとおり	
①現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		別紙 1, 2 のとおり	
①現状	【前年度（      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		別紙1, 2のとおり	
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量		t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量		t	t
	再生利用業者への 処理委託量		t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄				

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(令和2年度)実績量

計画：今年度(令和3年度)計画量

単位：トン/年

コード	産業廃棄物の種類 名称	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
		排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+③)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+④)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
210	有機性汚泥 (排水処理汚泥)	860.652	850.000	25.000	40.000			805.482	795.513			30.170	14.487	30.170	14.487					30.170	14.487
200	汚泥	1880.506	1865.000									1880.506	1865.000	1527.088	1542.000	353.420	323.000	1513.450	1532.000	13.636	10.000
220	無機性汚泥	4.801	4.601									4.801	4.601	4.801	4.601			4.800	4.600	0.001	0.001
1000	動植物性残渣	0.000	0.000									0.000	0.000								
300	廃油	0.408	0.400									0.408	0.400	0.408	0.400					0.158	0.150
600	廃プラスチック	7.544	7.300									7.544	7.300	2.250	2.800					5.294	4.500
1200	金属くず	1.650	1.500									1.650	1.500							1.650	1.500
1300	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0.173	0.100									0.173	0.100							0.173	0.100
800	木くず	8.620	8.500									8.620	8.500	8.620	8.500			8.620	8.500		
400	廃酸	0.065	0.050									0.065	0.050							0.065	0.050
500	廃アルカリ	0.001	0.010									0.001	0.001							0.001	0.001
320	廃溶剤	0.158	0.100									0.158	0.100							0.158	0.100
2520	水銀使用製品 廃棄物	0.000	0.300									0.000	0.300		0.300		0.300				
合計		2764.578	2737.861	25.000	40.000	0.000	0.000	805.482	795.513	0.000	0.000	1934.096	1902.339	1573.335	1573.088	353.420	323.300	1526.870	1546.100	51.306	30.889

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へ産業廃棄物のコード及び具体的な名称を記入してください。  
 ※数量に関しては、小数点以下3桁表示として記入してください。

別紙2 (廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	09 食料品製造業
②事業の規模	年間出荷金額 (百万円) 3,926
③従業員数	129人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別図①のとおり

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図等、別紙を参照)

別図②のとおり

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 製造工程および処理施設等の現状の分析と評価を行い減容化の可能性を検討し産業廃棄物の減量化に務めた。
②計画	(今後実施する予定の取組) 最終処分量の削減・再生利用の拡大等について数値目標及びその達成時期を定め実施を行う。 また、これらの処理に関する目標及び計画は定期的な見直しを行う。 ①発生抑制・発生抑制を考慮した原料(形態等)の供給、製造方法の検討。 ②再生利用・再生利用ルートを確保する。 ③中間処理・産業廃棄物処理ではなく有用物の生産設備とする。

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 発生工程ごとに廃棄物を保管。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 輸送・ハンドリングを考慮した形態で保管検討。

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 有償売却 新規売却先の開拓。 価格の見直し、性能の向上による優先取引化。
②計画	(今後実施する予定の取組) 有償売却 需要に応じた性質・形状への転化を検討する。

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 排水処理汚泥の中間処理による減量化
②計画	(今後実施する予定の取組) 排水処理汚泥以外の廃棄物の減量化を検討

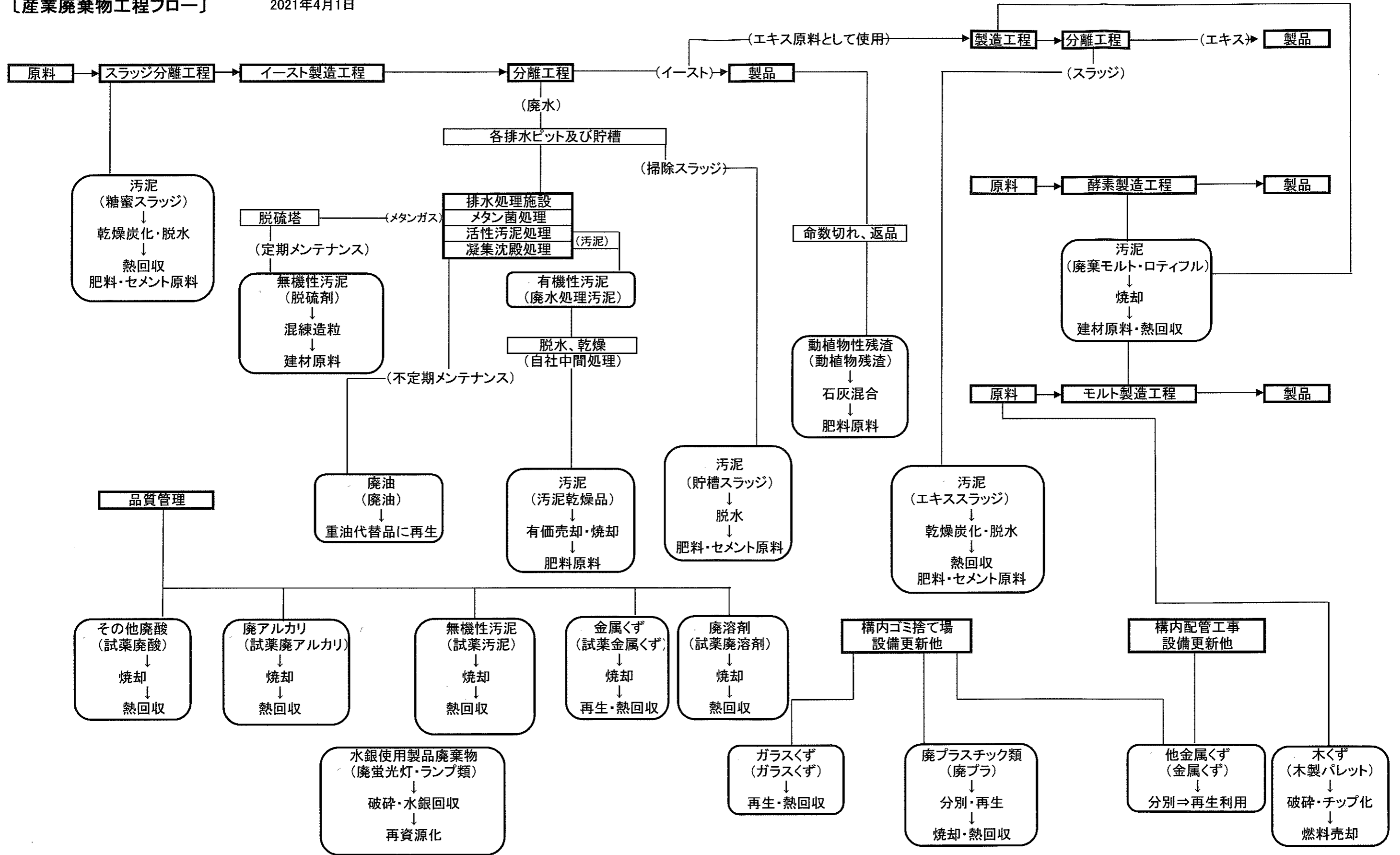
7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組)
②計画	(今後実施する予定の取組)

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 委託処理廃棄物については現在98%再利用化されている。 自社による産業廃棄物委託業者選定・評価の基準を設け 1回/2年委託業者の視察を行っている。
②計画	(今後実施する予定の取組) 処分業者を選定等により100%の再生利用を目指す。 優良認定処理業者への委託を検討する。





別図②

オリエンタル酵母工業(株)大阪工場 産業廃棄物処理社内組織図

2021年4月

